

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立鷲宮高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、「規律を守り、高い目標を実現する生徒を育成」という部分に反映させるなど、生徒・保護者・地域の期待に十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、今年度重点目標の見直しが行われた。目指す学校像を踏まえた四つの柱として設定され、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されたものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会が中心となって、学校自己評価システムが運営されている。本システムが十分機能するように、学校全体と分掌等の連携を強化し、学校全体の目標に対応する分掌等を明確にして、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「鷲高スタンダード」による生徒指導で規律ある生活態度が身に付くなど、組織的な取組の成果が上がっている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせて、達成状況を評価するものとして納得性のあるものを設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、アクティブ・ラーニングの推進など、学校全体の目標について分掌・教科が共通理解を深め、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケートの結果や学校関係者の意見等を詳細に分析して達成状況や課題を把握し、課題解決に向けた次の一手としての具体的な取組につなげていただきたい。	
特記事項			